

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年1月26日（木） 16：00～18：25
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官、河野主任技術研究調査官

技術基盤課 佐々木企画調整官、藤澤技術参与

原子力規制部

検査グループ専門検査部門 森田上席原子力専門検査官

検査グループ実用炉監視部門 菊川管理官補佐

原子力規制企画課 藤森企画調査官、斎藤課長補佐、佐藤係長、望月専門職

原子力エネルギー協議会 事務局長代理 他 8名

5. 要旨：

- ATENA から、ステンレス鋼配管粒界割れに関する検査技術の向上について検討した結果をレポートとしてまとめていること及びその内容について、説明があった。
- 原子力規制庁から、資料に「事業者に安全対策を指示する」とあるが、具体的にどのような安全対策を指示するのか等について明確にし、説明するよう伝えた。
- ATENA から、デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障への対応に基づく安全対策（以下「デジタル CCF 安全対策」という。）に関し、6 プラントから1月に要件整合報告が提出されるとの説明があった。同報告には事業者が行う工事概要が記載されるとのことである。また、工事については原子力規制庁が規制検査が実施されると認識しているとの発言があった。
- 原子力規制庁から、デジタル CCF 安全対策の実施計画の中には、運用規定に該当する記載ないが、原子力規制検査を行うに当たっては必要となるので、説明するよう伝えた。
- ATENA から、検討する旨発言があった。
- 原子力規制庁から、要件整合報告書の内容、運用規定に該当する記載内容、これら文書作成の品質管理体制等については、公開会合等において確認する予定であることを伝えた。
- ATENA から、2月16日（水）に開催される ATENA フォーラムについて説明があった。テーマに沿ったパネルディスカッションを予定しており、モデレーターからパネリストに対して各

論点についての意見をいただく予定である旨発言があった。

6. 配布資料：

資料1 「デジタル安全保護系のソフトウェア共通要因故障への対応」各原子力事業者の安全対策の実施計画および実施状況について（2022年度上期）

資料2 「デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障への対応」に基づく各事業者の安全対策実施の状況確認予定時期について安全対策実施の状況確認予定時期について

資料3 デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策の自律的対応について

資料4 PWR1 次系ステンレス鋼配管粒界割れの知見拡充 亀裂性状把握時における UT 技術の向上策（ATENA レポートについて）

以上